

横断検索システム I-Scover に関するお知らせ（続報）

電子情報通信学会では、会員の利便性向上を目指し、学会所有のコンテンツ類の価値最大化を図るため、横断検索システム I-Scover を開発し、利用促進を推進してまいりました。従来はコンテンツ種類毎の個別検索であったものが、I-Scover 導入によりメタデータが学会内で統一され、一元的に検索可能となっております。

現在、本学会は、約 30,000 人の会員を擁する我が国最大規模の学会ではありませんが、会員数は減少傾向となっております。会員数の減少は財政基盤にも大きな影響を与えており、継続的かつ将来を見据えた恒久的な対策がここ数年の最重要課題となっております。こうした中、I-Scover についても、運用費用に見合う効果（会員の利便性向上、I-Scover 導入による収入増）が得られるか、が問われてまいりました。

そのため、本学会誌 Vol. 100, No. 7（平成 29 年 7 月号）の『横断検索システム I-Scover に関するお知らせ』にて会員の皆様にお伝えしましたとおり、I-Scover の導入効果測定を行ってまいりました。その結果を踏まえ、学会として、会員メリットの最大化と、財政基盤の健全化の両面を熟慮した結果、本年度内（最終運用日：平成 30 年 3 月 29 日）に I-Scover の運用を停止することと致しました。

一方、現在、本学会では会員サービス向上に向け、大幅なシステム見直しをすべく、グランドデザイン WG を中心に検討を進めているところです。システム更改にあたっては、既存システムの使える部分を活かしつつ、よりよい機能を会員の皆様にご提供する方針としております。横断的な検索機能に関しましては、I-Scover により有効性が確認された学会内統一メタデータを活用し、簡易版ではございますがコンテンツ共通の検索機能を実現し、会員の皆様の利便性確保に努める所存でおります。新システムの開発期間中、約 1 年間はコンテンツ種類毎の検索となり、会員の皆様方に多少のご不便をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。新システム導入後は横断的な検索機能をご活用いただけます。

会員の皆様方のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

I-Scover ビジネス検討タスクフォースメンバー

篠原 弘道（会長）

江村 克巳（企画戦略室長）

津田 俊隆（編集長）

今井 浩（基礎・境界ソサイエティ会長）

守倉 正博（通信ソサイエティ会長）

植之原 裕行（エレクトロニクスソサイエティ会長）

中村 裕一（情報・システムソサイエティ会長）

辻 ゆかり（総務理事）